

ZERMATT・GRINDELWALD を歩く

(報告) FY

◎山行期日 2025年7月4日～12日

◎連れあいと二人

ZERMATT

9年ぶりにツェルマットに来た。オートルート (Le Haute Route) 以来だ。駅前は相変わらず世界中からの観光客で賑わっている。今回は約一週間滞在し幾つかのトレッキングを楽しむ予定だ。シャーレ (民宿) に泊まる。スイスの物価は日本の約2倍と高いので駅前のCOOPでハム・チーズ・野菜やワインを買い込み、宿のキッチンで調理する。日本から持ち込んだ素麺も毎日頂く。

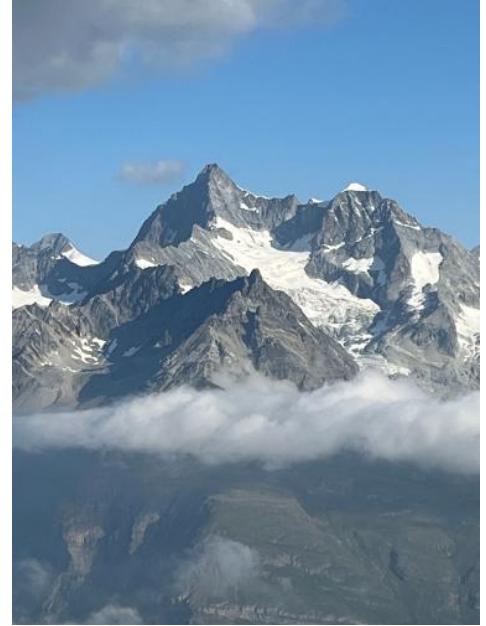
5日。朝7時始発の登山電車でゴルナーグラート 3100m に行く。ここは 360° の展望台で豪華絢爛である。東から西に向かいモンテローザ、リスカム、フィリング (カストル・ポラックス)、ブライトホルン、そしてマッターホルンの東壁がはるか遠方に広がる。ここには 1894 年創業の豪華なクルムホテルがありテラスでワインを飲みながら展望を楽しめるというしかけだ。早朝なので観光客の姿も少ない展望台でテルモスに入れた珈琲を飲んでサンドイッチを頂き、リッフェルブルグまで歩くことにする。何とも爽やかな光だ。マッターホルン東壁を正面に眺めながら歩き始める。ゴルナーグラートは森林限界を超えてるので遮る物は何もない。快適な散歩道だ。



リスカム 4527mとグレンツ氷河



リッフェルブルグ 2582mの池からの逆さマッターホルン東壁



カストル 4228m左とポラックス 4092m

1 時間ほど下るとリッフェルブルグ 2582mに到着する。登山鉄道の駅も近い。ここには小さな池が二つある。この日は風もなく池の水面にマッターホルン東壁が映えていた。トレッカーが 20 人ほどいる。この近くにはリッフェルアルプリゾートがある。160 年前ツェルマットでモンテローザホテルに続き、二番目にできた高級ホテルだそうだ。マッターホルンを眺める為だけの贅沢なリゾートホテルだ。このホテル以外は何もない。ホテル前のテラスには豪華な椅子が 50 台ほど並べてある。これからマッターホルンを眺めながらワインを呑む観光客が増えるのだろう。マッターホルンの素晴らしいのはどちらの側から見ても変わりなく堂々としていることだ。

このホテルから樹林帯に入る。爽やかな風を受けながらの快適なトレッキングだ。この辺りはマウンテンバイクとトレッキングのトレイルが完全に分けられているので安全に歩くことができる。M バイクはかなりのスピードで走っていく。家族連れのバイカーも多い。ときどきバクトレイルと道がクロスすることがあるが、ほぼ安心してハイキングできる。

以前メルボルンオリンピックの時、スイスで TV を見ていたが番組は全て自転車競技ばかりだった。自転車がスイスの国民的スポーツになっている。快適なトレックの後、午後 1 時にツェルマットの宿に到着した。



トレッキング途中で
ホルンを吹く人達に遭遇



バーンホフ通りは賑やかだ

6 日 (日) 8:00 のリフトに乗りシュバルツゼー（黒い池）2582mに到着する。ここからの展望も素晴らしい。目の前にマッターホルンの東北山稜が迫り、威圧感を感じる。ヘルンリ小屋に登るトレイルもここから始まる。2 日連続の晴天は有り難い。今日はマッターホルン北壁を展望しながらツムット村まで歩きツェルマットまでのトレッキングだ。13:00 ツェルマット着。（徒歩 5 時間）



マッターホルン 4478mの北壁を眺めながらのトレッキングは心地良い

ツェルマットの特徴はマッターホルンが展望できることに尽きる。この魅力にしびれたのがイギリス人ウインパーだった。彼は挿絵画家だった。20歳のとき英國山岳会の紀行文集「峯・峠・氷河」の挿絵を描くため初めてアルプス旅行に出かける。兄は「アラスカ旅行記」など旅や冒険への憧れの気分が溢れる家族だったようだ。時代はビクトリア王朝、植民地拡張時代だった。リビングストンのアフリカ探検旅行やジョン・フランクリンの北極探検などが行われていた。ワインパーは21歳で再びアルプスに行きツェルマットを訪れる。唯一のホテル、モンテ・ローザに宿泊する。1861年8月29日—30日 南西山稜をガイドのカレルとマッターホルン登攀を試みる。12月に英國山岳会会員となる。

ここからが凄いこだわりだ。22歳で五回もの登攀を試みている。

2登 1862年7月7日—8日ガイドのカレル・ペション・マグドナルドと登る。

3登 7月9日—10日。 4登 7月18日—19日単独で登るが転落し負傷する

5登 7月23日—24日ガイドのカレル・メイネ・セザールと登る。

6登 7月25日人夫一人と登攀 最高点4103mまで達する。

彼は挿絵画家なので夏休みでアルプスに来ている。秋にはロンドンに帰国し本業につく生活だ。翌年もしつこくツェルマットを訪れる。

23歳で7登 1863年8月10日—11日ガイドのカレルと梯子を2脚持参し試登

この年も失敗する。この年はイタリア側のブルイユからツェルマットに行きツムット氷河を越えダンデランに登りブルイユに戻る。マッターホルンを反時計回りで偵察一周の旅を行う。

25歳。8登 1865年6月21日 ブルイユから南東山稜を登るが失敗。グランドジョラス初登頂。エギュベルト初登頂。リュイネット初登頂など活躍する。

9登目。イタリア側からマッターホルン初登頂をねらう山案内人力レルと競い合って勝ち、初登頂に成功した。7月13日。8名で向かう。途中でガイド1名が帰る。7月14日 午後1時40分登頂。下山途中、ハドウ・クロ・ハドソン・ダグラス卿が頂上に近い絶壁から墜死するという衝撃的な事故が起きた。老ペーター・息子ペーター・ワインパー3名が下山するが、センセーショナルな話題になって真相究明の査問委員会の審問を受けることになった。「タイムズ」誌に遭難の事情を説明したけれど、避難や攻撃に対しては反論しなかった。その後アルプスに興味を失ったようで、アルプスでの大きな登攀は行わなかった。

30歳を越えるとグリーン
ランド探検、南米アンデスのチ
ンボラソ 6248m初登頂。

61歳でカナディアンロッキー
9座、初登頂など世界中の山
に興味を持ち探検家として活
躍した。

その後、ツェルマットは金持
ちイギリス人の避暑地となり、
牧場だらけだったツェルマットはホテルが立ち並び、今や高
級リゾート地だ。



BFはチーズとパンと果物



夕食は素麺とチーズと赤ワイン



シャーレは快適だ



素麺を茹で、野菜と果物を頂く



HOTEL、MONTE・ROZA は
創業 1875 年、ツェルマット
で最も古いホテルだ



早朝、100頭ほどの山羊を連れた
女性が駅前を通り餌場に連れて行く



南側から眺める
ツェルマットの街



ハイキングトレイルと
バイクロードの案内



シュバルツゼー（黒い池）
2582mの道標



ツムットの教会にあるキリスト像

GRINDELWALD

10日（木）グリンデルワルド（GW）からロープウェイでメンリッヘン 2227mまで行く。ここからほぼ平らな道をクライネシャイデック 2061mまで歩く。こここの展望台 2320mからアイガーグレッチャー駅 2320mまで行き。アイガートレイルを歩く。

アイガー北壁は 1800mの岸壁でマッターホルン北壁とグランドジョラス北壁と並ぶ 3 大北壁として有名な岸壁だ。ここを初登攀したのは 1938 年 7 月 24 日、ナチス政権下のハインリッヒハラーをはじめとする 4 名だ。彼らの記念碑がアイガー北壁に掲げてある。日本人で初登攀したのは 1969 年 7 月辰野勇と中谷三次だ。辰野勇はモンベルの社長だ。それにしても下から眺めるアイガー北壁は凄まじい岩壁だ。ここには幾つもの登攀者のモニュメントが建てられている。アイガートレイルは快適な下り道でカップルや家族連れも歩いている。何しろ展望が素晴らしい。GW の町を見下ろしながら豪華な道を歩く。GW 午後 4 時に到着。（徒歩 6 時間）



アイガー初登頂の記念碑



アイガートレイルの道標

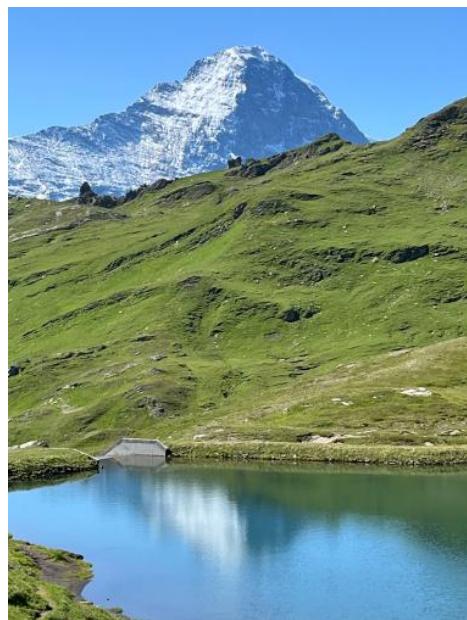
11日（金）ホテルの裏側からロープウェイでフィルスト展望台 2168mまで行く。フィルスト展望台からの眺めも素晴らしい。ここからバッハアルプジー湖まで歩く。風が心地よい。この池に来ると前面にベッターホルン 3692mとシュレックホルン 4078mが迫る。迫力が凄い。GW はアイガー・メンヒ・ユングフラウが有名だがベッターホルンとシュレックホルンの迫力もたいしたものだ。池のほとりで展望を楽しむ。

ここは *Neutrale* でやっていた韓国ドラマ「愛の不時着」のロケ地だった。「愛の不時着」は韓国の富豪の娘がパラグライダーを楽しんでいたとき暴風に巻き込まれ北朝鮮側に入ってしまう。そのとき北の兵士に捉えられるがその兵士と恋愛関係になる。北朝鮮のリアルな生活が興味深く描かれていたので人気が出たドラマだった。その中でイスの場面が出てきたのだが、そこがフィルスト展望台だった。大きなハート型のモニュメントもあり世界中からカップルが訪れる記念撮影していた。Netflix は世界でみられていることを実感した。

蒼々たる山に囲まれ、心地よい展望を楽しめるスイスは世界に誇れる山岳リゾートだ。ロープウェーだけの山。カフェだけの山。それでも、自然を楽しみワインを楽しむスイスの人たちの逞しさを改めて感じた。



ヴェッターホルン 3701m



シュレックホルン 4078m



バッハアルプゼーからの展望・中央がシュレックホルン

《コースタイム》

2025年 7月4日（金）～11日（金）

ZERMATT

5日（土）7:00 登山電車でゴルナーグラート 8:00 発
10:00 リッフェルブルグ（逆さマッターホルン）
13:00 ツェルマット着（徒歩5時間）

6日（日）8:00 リフトに乗りシュバーレツバルト。
10:00 マッターホルン北壁を展望しながら
ツムット村まで歩く。
13:00 ツェルマット着。（徒歩5時間）

8日（火）8:00 ツェルマット発
11:00 スネガ。ランチを取り展望を楽しむ。
13:00 ツェルマット着（徒歩5時間）

1スイスフラン CHF=¥185

地図 Zermatt 1:25000

参考本「アルプス登攀記」by ウィンパー 旺文社文庫 昭和49年6月

GRINDELWALD

10日（木）8:00GW からロープウェイで
メンリッヘン 2227mまで行く。
クライネシャイデック 2061mまで歩く。
10:00 ここの展望台 2320mからアイガ
グレッチャー駅 2320m
11:00 アイガートレイルを歩く。
16:00GW 着（徒歩6時間）

11日（金）
8:00GW からロープウェイでフィルスト
展望台まで 2168m。
9:00 フィルスト展望台からバッハアルプ
ゼー湖まで歩く。ベッターホルン 3692mと
シュレックホルン 4078m の迫力が凄い。
13:00GW 着（徒歩4時間）